



園だより

10月号



10月の聖句

成長させてくださったのは神です。

コリントの信徒への手紙1 3章6節

さくらんぼ組前のイチョウの木に今年初めてぎんなんが実をつけ、アスレチック脇のナツメの木にも実がいっぱい！さふらんの庭は実りの秋を迎えました。

いつまで残暑が続くのでしょうか？と思うほど、9月の半ばを過ぎても気温が30度超えの日々が続き、運動会の練習も気温と子ども達の体調を気遣いながら行っていました。これからも温暖化による気温上昇が常態化するなら、園庭での練習も充分出来ないまま運動会を迎えるよりも、時期をずらし例年11月に行っているプレイデーを10月に、運動会を11月に変更する案が教師会で話し合われました。年長さんがリードする運動会を継承する為にも、十分な話し合いと準備の時（特に園庭での活動）が必要です。その為、来年度よりプレイデーと運動会の日程を変更することに決定しました。

それに伴う様々な事柄を考えながら子ども達の力が発揮できるよう配慮していきます。父母の皆様には鑑賞会やコーラスの発表など次年度に向けて変更があると思いますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

9月初めに、町田第3小学校の副校長先生より電話がありました。{6年生の総合学習で“難民”について勉強をする中で、自分たちのできる支援は？と考えユニクロと協力して、家庭に眠っている着なくなった子ども用衣類を集める活動を学校の生徒や父母に呼び掛けるのは勿論、地域の保育園や幼稚園にも声をかけよう！と話し合い、「さふらん幼稚園は協力してくれると思うよ」と当園の卒業生から提案がありましたので・・・いかがでしょうか？}園の方は「思いかけないお誘いがとても嬉しく、是非協力させて下さい」と、後日2人の6年担任教師が来訪、年長担当教師と詳細について打ち合わせ、6年生と年長の子ども達が直接やり取りする予定です。この取り組みを通して自然な交流が生まれ難民に関心を寄せるきっかけとなり、小学校への期待が膨らみ親しみや憧れを抱いてくれることでしょう。詳細については後日お知らせします。

来週はいよいよ運動会！暑い中練習に励んだ子ども達、特に年長さんは係の分担も決まりとても張り切っています。皆様の温かいご声援をお願いします。



「私は植え、アポロは水を注いだ。しかし」の後に続くのが今月に聖句です。種を植える人・水を与える人それぞれに大切な役割がありますが、種に命を与え成長させてくださったのは神様です。子ども達一人一人に備わっている力を私達は信じて、祈りつつその成長を支えていきましょう。

